

2014  
初  
心  
展

赤瀬川原平・畠山直哉・内藤礼・伊藤存・青木陵子

## 開催のお知らせ

資生堂ギャラリーでは、2014年4月10日（木）から5月25日（日）まで、昨年から新メンバーでスタートした第七次椿会の2回目となる、「椿会展 2014- 初心 -」を開催します。「椿会」は、1947年から続く資生堂ギャラリーを代表するグループ展です。時代とともにメンバーを入れ替えながら、70年近くにわたり継続してきました。

第七次椿会のメンバーは、赤瀬川原平、畠山直哉、内藤礼、伊藤存、青木陵子の5名です。「3.11」を強く意識し、メンバー全員で「初心」というサブタイトルを決めました。「初心」とは、「何かをしようと思い立った当初の純真な気持」（三省堂『新明解国語辞典』より）。また、「初心忘るべからず」は、芸の智慧を説いた世阿弥の書に、人生の様々な段階において未経験のことに挑戦していく心構えであることと記されています。「3.11」を経験したあと、ふたたび立ち上がり前に進んでいく過程において、初心とは何か、ものづくりのきっかけは何だったのかを問い直す時期にあるのではないかという想いを込めています。グラフィック・デザイナーの仲條正義氏による展覧会のロゴは、毎年新たなデザインになります。

本展では、各アーティストが「初心」というテーマを踏まえ、新たに制作、もしくは選んだ作品を展示いたします。赤瀬川原平は数十枚にもおよぶクラシックカメラの鉛筆画、畠山直哉は自然のなかの人工物を捉えた2つの写真連作、内藤礼は淡い色を何層にも重ね色彩のはじまりを表現した絵画「color beginning」の新作、伊藤存は人間のそばに生息する生き物のくらしをテーマにした作品「みえない土地の建築物」のための新作ドローイング群、青木陵子は植物の水彩画の新作を出展する予定です。今回の「椿会展」も、ぜひご期待下さい。

## ■「椿会展 2014 - 初心 -」開催要項

主催：株式会社 資生堂

会期：2014年4月10日（木）～5月25日（日）

会場：資生堂ギャラリー

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下1階

tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951 URL: <http://group.shiseido.co.jp/gallery>

平日 11:00～19:00 日・祝 11:00～18:00 毎週月曜休（月曜日が休日にあたる場合も休館）

入場無料

## ■ 出展作家

### 赤瀬川 原平 (あかせがわ げんぺい)

1937年横浜市生まれ。東京在住。画家。作家。路上観察学会会員。前衛芸術家。美術史に残る千円札裁判の被告、イラストレーターなどを経て、1981年『父が消えた』(尾辻克彦の筆名)で第84回芥川賞受賞。1989年には映画『利休』の脚本を勅使河原宏と共同執筆し、日本アカデミー賞脚本賞受賞。著書に『新解さんの謎』(文春文庫)、『超芸術トマソン』『老人力』(以上、ちくま文庫)、『個人美術館の愉しみ』(光文社新書)など多数。「老人力」は1998年の流行語となる。近年の主な展覧会は2008年「氾濫するイメージ 反芸術以後の印刷メディアと美術」うらわ美術館、2010年赤瀬川原平写真展「散歩の収穫」横浜市民ギャラリーあざみ野、2012-13年「TOKYO 1955-1970／新しい前衛芸術」ニューヨーク近代美術館、2013年「ハイレッド・センター:『直接行動』の軌跡」名古屋市美術館など。作品は、名古屋市美術館、広島市現代美術館、兵庫県立近代美術館、ウォーカーアートセンター(ミネアポリス)などに收藏されている。

### 島山 直哉 (はたけやま なおや)

1958年岩手県陸前高田市生まれ。東京在住。筑波大学芸術専門学群にて大辻清司に師事。1984年に同大学院芸術研究科修士課程修了。以降東京を拠点に活動を行い、自然・都市と写真のかかわり合いに主眼をおいた、一連の作品を制作。2001年に中村政人、藤本由紀夫とともにベネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館にて展示。2011年に東京都写真美術館で個展「ナチュラル・ストーリーズ」を開催(平成23年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞)など、国内外の数々の個展・グループ展に参加。2012年、ベネチア・ビエンナーレ国際建築展の日本館に参加(国別参加部門金獅子賞受賞)。作品は、国立国際美術館、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、ヒューストン美術館、ヨーロッパ写真館(パリ)、ピクトリア・アンド・アルバート美術館(ロンドン)などに收藏されている。

### 内藤 礼 (ないとう れい)

1961年広島県生まれ。1985年武蔵野美術大学卒業。1991年、佐賀町エキジビットスペースで発表した「地上にひとつの場所を」で注目を集め、1997年には第47回ベネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館にて同作品を展示。主な個展に、1995年「みごとに晴れて訪れるを待て」国立国際美術館、1997年「Being called」カルメル会修道院(フランクフルト)、2005年「返礼」アサヒビール大山崎山荘美術館、2007年「母型」入善町 下山芸術の森 発電所美術館、2009年「すべて動物は、世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している」神奈川県立近代美術館 鎌倉などがある。パーマネント作品として2001年「このことを」家プロジェクト『きんざ』(直島)、また2010年には豊島美術館にて「母型」を発表。作品は、フランクフルト近代美術館、ニューヨーク近代美術館、イスラエル博物館、国立国際美術館などに收藏されている。

### 伊藤 存 (いとう ぞん)

1971年大阪生まれ。京都在住。1996年京都市立芸術大学美術学部卒業。刺繍の作品をはじめとして、アニメーション、ドローイング、彫刻作品を制作。2003年にワタリウム美術館で個展「きんじよのはて」を開催。2006年「三つの個展:伊藤存×今村源×須田悦弘」国立国際美術館、2009年「Louisa Bufardeci & Zon Ito」シドニー現代美術館、2010年「プライマリー・フィールドⅡ: 絵画の現在 — 七つの〈場〉との対話」神奈川県立近代美術館 葉山、2011年「世界制作の方法」国立国際美術館、2012年「別府のミミック」(KASHIMA 2012 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE 滞在制作成果展)、2013年「Now Japan」(Kunsthall KAdE, アメルスフォールト、オランダ)、「磯部湯画廊／磯部湯活用プロジェクト」(旧磯部湯、前橋市、群馬)など、国内外の展覧会に参加。作品は、ウォーカーアートセンター(ミネアポリス)、ワタリウム美術館、東京都現代美術館、高松市美術館、国立国際美術館などに收藏されている。

### 青木 陵子 (あおき りょうこ)

1973年兵庫県生まれ。京都在住。京都市芸術大学大学院美術研究科修了。動植物や日常の断片、幾何学模様などをイメージの連鎖で描き、その素描を組み合わせた作品を発表。主な個展に2002年「クリテリウム 51」水戸美術館、2005年「HAMMER PROJECT Ryoko Aoki」ハママー美術館(ロサンゼルス)、2010年「ワイルドフラワーのたね」オン・サンデーズ、主なグループ展に2007年「ドクメンタ 12」ドイツ(カッセル)、「マイクロポップの時代: 夏への扉」水戸美術館現代美術ギャラリー、2009年「ウインター・ガーデン」原美術館、2010年「絵画の庭」国立国際美術館、2013年「拡張するファッション」水戸美術館現代美術ギャラリーなど。作品は、ニューヨーク近代美術館、高松市美術館、東京都現代美術館などに收藏されている。

---

## ■ 関連企画(予定)

対談: 畠山直哉× 鷺田清一(哲学者、せんだいメディアテーク館長/大谷大学教授)

日時: 5月9日(金) 18:00-20:00

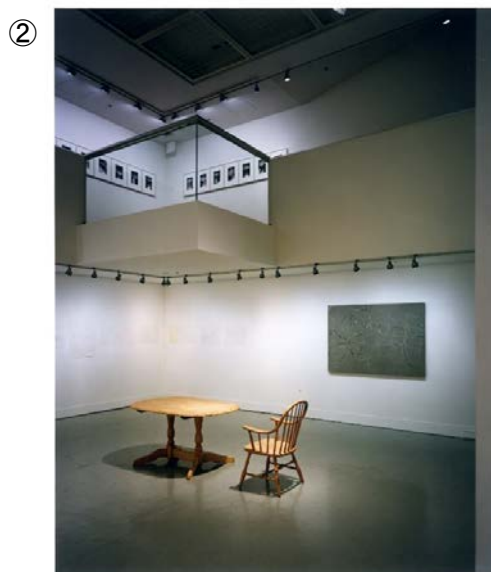
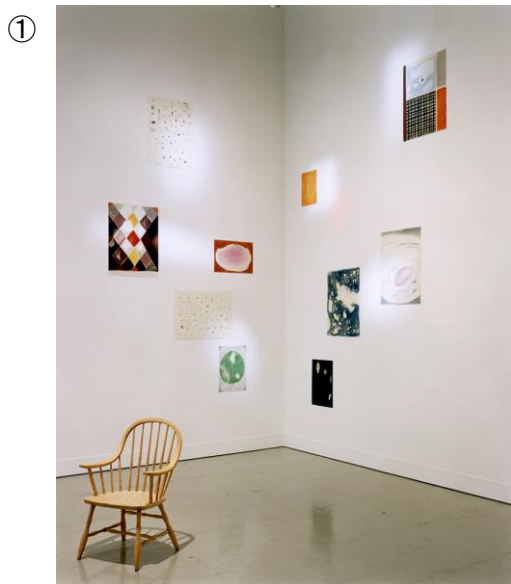
会場: 花椿ホール(資生堂銀座ビル3階)

定員 150名 参加費無料(お申し込み多数の場合は抽選となります)

お問い合わせ: 資生堂ギャラリー tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

---

## ■ 参考写真



写真クレジット①②③すべて:

椿会展 2013 展示風景  
撮影: 畠山直哉

---

■ 写真資料請求は下記までお願いします。  
資生堂ギャラリー 担当: 永田・大橋  
tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951  
(11:00~18:00 月曜休)  
e-mail: gallery@to.shiseido.co.jp

■ 本展に関するお問い合わせは下記までお願いします。  
104-0061 東京都中央区銀座 7-5-5  
株式会社 資生堂 企業文化部 担当: 豊田  
(10:00~17:00 土日祝休)  
e-mail: gallery@to.shiseido.co.jp